

2015年3月25日

報道関係者 各位

大和リース株式会社
代表取締役社長 森田俊作

非常時の地域支援活動

大和リースは全国の自治体や学校にリチウムイオン蓄電池を寄贈します

大和ハウスグループである大和リース株式会社(本社：大阪市、社長：森田俊作)は、リチウムイオン蓄電池「パワーイレ」(製造元：エリーパワー株式会社)を全国の自治体や学校15箇所に49台寄贈します。



リチウムイオン蓄電システム
「パワーイレ」

■エリーパワー製 蓄電システムの特徴

大型リチウムイオン電池として、世界で初めて国際的第三者試験・認証機関 TÜV Rheinland (テュフ ラインランド ジャパン) の安全基準認証「TUV-S マーク」を取得。製品内部のリチウムイオン電池に釘を刺しても発煙や発火はしないことが検証実験によって証明されています。



リチウムイオン
電池セル

当社はPFI、PPP事業として、全国で庁舎や学校をはじめとする公共施設の整備実績があります。また、阪神・淡路大震災や東日本大震災などの国内外の災害時には応急仮設住宅の建設に携わってまいりました。そうしたこれまでの経験から、仮設住宅に入居するまでの緊急時、避難所に非常用電源としてリチウムイオン蓄電池を配備することで避難所が抱えるエネルギー問題を解決し、被災者の生活環境確保※2の一助となるとともに、緊急時に司令塔の役割を果たす行政の支援となりたいという思いから、各自治体や学校施設※3に対して寄贈すること

になりました。

- ※2. 2012年、2013年に災害対策基本法が改正され、被災者の皆さんが一定期間滞在する避難場所において、その生活環境を確保するための一定の基準を満たす「被災者保護対策の改善」が定められました。
- ※3. 2013年5月現在、避難所に指定されている学校数は31,869校（対全学校数比91%）。[国立教育政策研究所調査]

■ パワーイレの活用方法

停電時のバックアップ電源※4として利用でき、BCP※5対策としても利用できるほか、平常時のピークシフト※6や環境教育にもご活用いただけます。



東日本大震災時、避難所の受付や安否確認の掲示板を照らす照明の電源として活用されました。

- ※4. 52インチ液晶テレビ1台・ノートパソコン1台・LED照明器具8台・携帯電話充電20台を同時に約2時間使用することができます。
- ※5. Business Continuity Plan（事業継続計画）の略称。災害や事故などの予期せぬ出来事の発生により、限られた経営資源で最低限の事業活動を継続、ないし目標復旧時間以内に再開できるようにするために、事前に策定される行動計画。
- ※6. 電力負荷を電力需給の逼迫する時間帯（昼間）から緩慢な時間帯（夜間）に移行させること。



■ 寄贈実績および予定（2015年3月末まで）

No.	寄贈先	寄贈台数	寄贈日
1	京都市（京都府）	7	2014年8月4日
2	和歌山市（和歌山県）	10	2014年10月24日
3	鳥取県	2	2015年1月30日
4	南部町（鳥取県西伯郡）	2	2015年1月30日
5	岸和田市（大阪府）	5	2015年2月5日

6	洲本市（兵庫県）	5	2015年2月17日
7	座間味村（沖縄県）	3	2015年3月16日
8	神石高原町立神石小学校（広島県神石郡神石高原町）	2	2015年3月16日
9	滑川町立月の輪小学校（埼玉県比企郡滑川町）	2	2015年3月23日
10	野洲市立野洲小学校（滋賀県野洲市）	2	2015年3月25日
11	東郷町立兵庫小学校（愛知県愛知郡東郷町）	2	2015年3月25日
12	富山市立中央小学校（富山県富山市）	2	2015年3月27日
13	茅ヶ崎市（神奈川県）	2	2015年3月29日
14	川崎市立上丸子小学校（神奈川県川崎市）	1	2015年3月30日
15	静岡県立遠江総合高等学校（静岡県周智郡森町）	2	2015年3月31日
-	合計	49台	-



富山市立中央小学校



滑川町立月の輪小学校

■パワーイレの概要

名称	「パワーイレ」	
製造元	エリーパワー株式会社	
本体寸法	幅 320mm×奥行 550mm×高さ 702mm	
質量	約 62kg	
蓄電池容量	最大 2kWh	
出力容量	AC100V×2口（最大 1000W まで）	
入力	商用電力	AC 単相 100V 15A
	ソーラーパネル	DC48V 10A【最大】
使用環境	室温	0℃～40℃
	湿度	5%～95%RH
	使用場所	屋内

●本件に関するお問合せ●
 大和リース株式会社 本社 広報販促室
 tel : 06-6942-8068